

令和元年度第1回地域公共交通部会での協議内容について（報告）

1 開催日時

令和2年1月20日（月） 午後2時45分から午後4時15分

2 場所

柏市役所 本庁舎5階 第5・6委員会室

3 議事要旨

議題1 公共交通空白不便地域の対応について

(1) 経緯

市では、超高齢社会に対応した持続可能な都市を目指し、コンパクトなまちづくりと連携した公共交通網の整備を進めるため、平成31年2月に「柏市地域公共交通網形成計画」を策定した。

本計画では、鉄道駅から800m（柏駅、柏の葉キャンパス駅は1km）圏外かつバス停から300m圏外の地域を「公共交通空白不便地域」として抽出した（「資料6」のとおり）。

計画における施策のひとつに「公共交通空白不便地域における対応策の検討」を位置づけている。

(2) 新たな公共交通システムの導入検討について

前回の地域公共交通部会では、次のことを確認した。

ア 新たな公共交通システムの導入に当たっては、「柏市地域公共交通網形成計画」に定める「基本方針」を踏まえ検討を行うこと

「基本方針」

- ・ 地域状況に応じたバス路線への再構築
- ・ 交通モード間の円滑化を推進
- ・ 高齢者等に配慮した交通環境の構築
- ・ 中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存
- ・ 公共交通利用促進

イ 新たな公共交通システムの導入方針

- ・ 高齢者を中心とする市民の日常生活における移動を支えること
- ・ 公共交通空白不便地域の改善・解消に寄与すること
- ・ 既存の公共交通と役割分担し、共存・連携強化すること
- ・ 民間活力を有効活用すること
- ・ 持続可能な公共交通とすること

ウ 新たな公共交通システムを導入するエリアを選定するための評価項目

・評価の流れ

各公共交通空白不便地域

- ↓
- ①各評価項目について、地域間を比較して点数化
 - ②各評価項目の点数を合計
 - ③合計点数が上位の地域にヒアリング
 - ④ヒアリング結果を踏まえ、評価、検討

新たな公共交通システムを導入する優先エリア決定

・評価項目

各地域を「人口」，「世帯構成」，「環境」等の観点で評価することとした。

(3) 公共交通空白不便地域カルテの概要・作成の方向性について、カルテ（案）を示した。

(4) 委員からの主なご意見と市の対応

ア 地域へのヒアリングとあるが、対象者について伺いたい。

⇒各地域の状況に応じて、地域ごとに伺いやすい形式をとる予定である。対象地域の一部の町会（全世帯）に買い物や通院への移動状況等に関するアンケートを実施する。

イ カルテでの対応（案）について、安易に病院バスや近隣市のバスと連携するのではなく、もう少し考えた方がよいのではないか。

⇒具体的な対応は、今後、地域へのヒアリングを通して考えていく。

議題2 予約型相乗りタクシー「カシワニクル」事業計画変更案について

(1) 経緯

予約型相乗りタクシー「カシワニクル」は、市の東部地域において、利用者の予約に応じて運行する公共交通である。

運行区域の変更（拡大）については、柏市地域公共交通網形成計画において施策として位置づけている。柏市では、カシワニクルの他に市の南部・東部地域の一部でかしわ乗合ジャンボタクシーという定時定路線の公共交通を運行しており、計画では、両交通の運行形態の再編により、市民の利便性の向上を目指すこととしている。

(2) 変更内容、今後の予定

カシワニクルの運行区域を拡大し（「資料7」のとおり）、今後、かしわ乗合ジャンボタクシーの沼南コースを再編予定

(3) 委員からの主なご意見と市の対応

市内のタクシー事業者に本件について説明し、理解を得てから審議してもらいたい。

⇒以前のタクシー事業者への説明から時間が経過していることから、改めて柏地区タクシー運営委員会の全事業者に対して本件について説明の上、理解を得た上で、次回の地域公共交通部会で諮ることとする。

以上